

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2012.6.1 NO.75



「九条の会・流山」HP : <http://www.nagareyama9.org/>

メール : info@nagareyama9.org

憲法集会鎌田 慧さん講演

5月19日南流山センターで流山憲法集会2012が開かれ、ルポライターの鎌田 慧さんが講演。

当日は流山市が断水し、講演中トイレが使えないというハプニングに見舞われましたが、200人余が集まり、皆さんの関心の高さを示しました。

鎌田さんの講演要旨

・40年前、沖縄返還時、県知事の屋良朝苗氏は、「沖縄は常に手段として利用されてきた。これからは将来の喜びが持てる所とした」と、希望を示したが未だ国内基地の74%が沖縄にある。名護市民、沖縄知事、沖縄県民が普天間基地の辺野古への移転について反対表明しているにもかかわらず、国・中央権力が強行する画策をしている。これが民主主義国かと思う。



・自民よりましであろうとして期待されて選ばれた民主政権で、更に悪化してきている。このような事故を起こしても尚、原発の持続、輸出と、より危険な社会になろうとしている。各々の原発には必ず反対運動があったが、反対運動が原発推進派に敗れたところに原発が建った。

能登半島の珠洲市では25年以上前から、北陸電力、関西電力、中部電力三社共同の建設目的で、ほとんど単身赴任の90人の社員がその地に住み込んでいた。その人たちが引揚げたら町の消費が30%もダウン。90人がこんなに使うはずがない。各家庭に金を入れ、全住民を事ある毎に旅行に連れて行く。多い人は10回、20回と。これは金による人間買収だ。下北半島の六ヶ所村での再処理工場の建設は、60年代半ばに決定され

たが、現在10%くらいしか進んでおらず、今なお建設中だ。どれだけ金がかかっているか、想像を絶する。でもその費用は全部電気料金に上乗せしているので、電力会社は何も痛まない。

下北半島のむつ市の中間貯蔵施設を建設中だ。むつ市の市役所は東電がまるごと買い取ったダイエーの跡地に作られている。原子力船「むつ」はたった1回エンジンをかけただけで、放射能漏れでストップした。この原子力行政は最初から失敗だった。

・原発の補助金で公民館やハコモノだけを建設したり、地域活性化が原発の金だけに頼っていると、その施設維持などのため補助金の必要性を感じて、次の原発の建設をと考える。補助金が終わったあと発展した地域というのはどこにもない。

・原発は民主主義の対極にある。自民党の石破は、「原発はまだるっこい。原発はいいから核武装しろ、当面は生産しないが、核兵器生産のポテンシャルは持続して行こう」という。原発は核兵器に繋がる。

・福島事故で20k圏内は立ち入り禁止となった。家族の安否・家の様子を見に行けなかった。遺族とて同じ。これだけ地域の自然・生活を壊した東電が、電気料金値上げは権利といい、それを支えてきた官僚、放射能は「無主物」だから、まき散らした東電には責任がないという裁判所、こんな勝手し放題を変えられない社会は腐っている。20k、30k圏内は戻れないことを認識する必要がある。例えば大間の30k圏内には30万人が住む函館がある。2000人の大間だけを対象に、ことを進めるのは本来の危険に立ち向かってはいない。

・7月16日には代々木公園を完全に埋め尽くす10万人集会を企画している。ぜひ参加を。

会場の音響が悪く聞き取りづらかったことをお詫びします。途中、会館の方にもお願いし、いろいろ調整を試みましたが、音量もあれで最大だとのことで改善できませんでした。申し訳ありません。(事務局)

